

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	国語		科目名	論理国語			第 1 学期	4 月 ～ 5 月	7、具体と抽象の関係を理解するために 「人類による環境への影響」										9				
単位数	3	学科	普通科	学年	3 年	該当するコース・科 →			●								第 1 学期	6 月 ～ 7 月	9、情報を関連づけ自分の解釈を形成するために 「学びとは何か」	7			
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																			★中間 ★期末 ★期末	10、解釈を広げたり深めたりするために 「未来のありか」	7		
① 新論理国語（三省堂） ② 新論理国語 学習課題ノート（三省堂） ③ 常用漢字ダブルクリア（尚文出版） ④																					★中間 ★期末 ★期末	10、解釈を広げたり深めたりするために 「未来のありか」	7
学 習 の 重 点 目 標																							★中間 ★期末 ★期末
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																							
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度																
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字・リテラス検定についての小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考查後に自己評価や振り返りを実施			8、批評するために 「日本マンガのブルーオーシャン」 9、情報を関連づけ自分の解釈を形成するために 「文系と理系の壁はあるか」 ★中間 ★期末 ★期末													
評 価 の 基 準																							
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）																	
				B＋	B－																		
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができる。			定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考查と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			7、具体と抽象の関係を理解するために 「この十年をどう生きるか」 9、情報を関連づけ自分の解釈を形成するために 「知る」ということ ★期末												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができる。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。		探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。		探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。			10、解釈を広げたり深めたりするために 「科学には限界があるか」 10、解釈を広げたり深めたりするために 「リスク社会論」 ★期末												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考え			2月～3月												
総 時 間 数																					82		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	国語		科目名	論理国語																
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●					第 1 学期	4月 ～ 5月	第二部 一. 情報社会を生きるⅡ 「流言とメディア」	4	
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																	6月 ～ 7月	【中間考査】	1	
① 教科書：精選 論理国語（三省堂） ② 問題集：精選 論理国語 学習課題ノート（三省堂） ③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ④ 参考書：新訂版常用国語便覧（浜島書店）																		第 2 学期	8月 ～ 9月	第二部 二. 言葉を見つめるⅡ 「夢は何語で見る？」 三. 共生社会を創造する 「講演 持続可能な福祉社会への道」
学 習 の 重 点 目 標																10月 ～ 11月			【期末考査】	6
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																	第 3 学期		12月 ～ 1月	【期末考査】
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			8月 ～ 9月	第二部 四. 経済について考える 「『欲望』と資本主義」 五. 国際社会を考える 「南の貧困／北の貧困」	6								
	①定期考査の出来具合 教科書で学習した内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 副教材、授業の内容を中心に小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施				7									
評 価 の 基 準																10月 ～ 11月	【中間考査】	1		
知・技	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）			12月 ～ 1月	第二部 七. 「リスク社会」を生きる 「リスク社会論」	6								
											第 3 学期	2月 ～ 3月	共通テスト対応問題演習	7						
思・判・表	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まできちんと理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			12月 ～ 1月		【期末考査】	1							
	主体的にものごとを考え、表現したいことを明確にし、積極的に自分の言葉で他者と意見共有して自己を表現することができている。			表現したいことを明確にし、ある程度自分の言葉で考えを他者に伝えたり、自己を表現したりすることができている。			自分の考えを持ったり自分の言葉で考えを他者に伝えたりするなど、自己を表現する様子がほとんど感じられない。				第 3 学期	2月 ～ 3月	共通テスト対応問題演習	8						
主体性・態度	応用的な文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身につけている。			応用的な文章の読み取りにあまり取り組むことができず、思考力や判断力が身につけていない。			2月 ～ 3月		【期末考査】	1							
	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。				第 3 学期	2月 ～ 3月								
振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。																第 3 学期	2月 ～ 3月			
振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。																	第 3 学期	2月 ～ 3月		
振り返るべき内容をあまり考えることができていない。																第 3 学期		2月 ～ 3月		
総 時 間 数																	54			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	国語		科目名	論理国語											第 1 学期	4 月 ～ 5 月	第二部 一. 情報社会を生きるⅡ 「流言とメディア」 三. 共生社会を創造する 「母親のための酸素マスク」	5 4	
単位数	3	学科	普通科	学年	3 年	該当するコース・科 →						●				第 2 学期	6 月 ～ 7 月	第二部 二. 言葉を見つめるⅡ 「夢は何語で見る？」 三. 共生社会を創造する 「講演 持続可能な福祉社会への道」	6 8
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)															【中間考查】		1		
① 教科書：精選 論理国語（三省堂） ② 問題集：精選 論理国語 学習課題ノート（三省堂） ③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ④ 参考書：新訂版常用国語便覧（浜島書店）															学 習 の 重 点 目 標				
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 教科書で学習した内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 副教材、授業の内容を中心に小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考查後に自己評価や振り返りを実施												
	評 価 の 基 準															8 月 ～ 9 月	第二部 四. 経済について考える 「『欲望』と資本主義」 五. 国際社会を考える 「『文化が違う』とは何を意味するのか？」 ●「多文化共生社会」について考える 【中間考查】	8 7 4 1	
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）				第 3 学期	10 月 ～ 11 月	第二部 七. 「リスク社会」を生きる 「リスク社会論」 ●「リスク社会」について考察する	7 4						
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まできちんと理解できている。			定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考查と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。						共通テスト対応問題演習 【期末考查】	9 1						
思・判・表	主体的にものごとを考え、表現したいことを明確にし、積極的に自分の言葉で他者と意見共有して自己を表現することができる。			表現したいことを明確にし、ある程度自分の言葉で考えを他者に伝えたり、自己を表現したりすることができる。		自分の考えを持ったり自分の言葉で考えを他者に伝えたりするなど、自己を表現する様子がほとんど感じられない。						12 月 ～ 1 月	共通テスト対応問題演習 【期末考查】	14 1					
	応用的な文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身につけている。		応用的な文章の読み取りにあまり取り組むことができず、思考力や判断力が身につけていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。				2 月 ～ 3 月									
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができる。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
総 時 間 数															81				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数						
教科名	国語			科目名	論理国語					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	〔文化の認識〕 「いき」の美学	8						
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →									●					【中間考査】	1						
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																			第2学期	6月 ～ 7月	〔社会の枠組み〕 人はなぜ働かなくてはならないのか	9					
① 教科書：論理国語（数研出版） ② 問題集：論理国語 学習課題ノート（数研出版） ③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ④ 問題集：大学入学共通テスト対策問題集（尚文出版）																					【期末考査】	1					
学 習 の 重 点 目 標																					8月 ～ 9月	〔情報と知性〕 人工知能はなぜ椅子に座れないのか 〔環境と人間〕 意志と選択 【中間考査】	6 6 1				
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																			10月 ～ 11月	大学入学共通テスト対策問題演習 【期末考査】	12 1						
知・技	知識・技能			思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度					第3学期	12月 ～ 1月	大学入学共通テスト対応問題演習 【期末考査】	9 1										
	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施					①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施							2月 ～ 3月											
評 価 の 基 準																		総 時 間 数				55					
思・判・表	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）					C（努力を要する状況）					主体性・態度													
				B＋		B－																					
定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。																		定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					
自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、表現の仕方を工夫することができている。																		自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、ある程度表現の仕方を工夫することができている。		自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。							
文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通して的確に批評や討論、論述、発表することができている。																		文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通してある程度批評や討論、論述、発表することができている。		文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえての読み比べや調べ学習、外国語に訳す活動を通して、批評や討論、論述、発表することがあまりできていない。							
予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。																		真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。							
振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。																		振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。							

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	国語		科目名	論理国語															
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →								●		第 1 学 期	4月 ～ 5月	〔文化の認識〕 「いき」の美学	9
教科書・副教材・（発行所）															6月 ～ 7月		〔社会の枠組み〕 人はなぜ働かなくてはならないのか 「である」ことと「する」こと	【中間考査】	1
① 教科書：論理国語（数研出版） ② 問題集：論理国語 学習課題ノート（数研出版） ③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ④ 問題集：大学入学共通テスト対策問題集（尚文出版）																			
学 習 の 重 点 目 標																			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度								第 2 学 期	8月 ～ 9月	〔情報と知性〕 人工知能はなぜ椅子に座れないのか 〔環境と人間〕 意志と選択 【中間考査】	10 9 1	
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施												
評 価 の 基 準															10月 ～ 11月	大学入学共通テスト対策問題演習 【期末考査】	19 1		
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）													
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。			B＋		B－		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。											
				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。													
思・判・表	自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、表現の仕方を工夫することができている。 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通して的確に批評や討論、論述、発表することができている。			自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、ある程度表現の仕方を工夫することができている。		自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。		自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえての読み比べや調べ学習、外国語に訳す活動を通して、批評や討論、論述、発表することがあまりできていない。											
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
総 時 間 数															80				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数	
教科名	国語		科目名	文学国語											第 1 学 期	4 月 ～ 5 月	「鍋セット」角田光代			7
単位数	3	学科	普通科	学年	3 年	該当するコース・科 →		●										第 2 学 期	6 月 ～ 7 月	★中間考査
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)															第 3 学 期	8 月 ～ 9 月	「鍋セット」角田光代			3
① 文学国語（大修館書店） ② 文学国語学習ノート（大修館書店） ③ 常用漢字ダブルクリア（尚文出版） ④																	第 3 学 期	10 月 ～ 11 月	「桔梗君へ」川上未映子	
学 習 の 重 点 目 標															第 3 学 期	12 月 ～ 1 月			★期末考査	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																	第 3 学 期	2 月 ～ 3 月	「赤い繭」安部公房	
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				第 3 学 期	3 月 ～ 4 月	★中間考査		1					
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字・リテラス検定についての小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施						第 3 学 期	5 月 ～ 6 月	「檸檬」梶井基次郎		13			
評 価 の 基 準															第 3 学 期	7 月 ～ 8 月	★期末考査		1	
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）				第 3 学 期	9 月 ～ 10 月	★期末考査		1						
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。						第 3 学 期	11 月 ～ 12 月	★期末考査		1				
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができる。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。		探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。				第 3 学 期	1 月 ～ 2 月			「冥土」内田百閒		8				
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。						第 3 学 期	3 月 ～ 4 月	★期末考査		1				
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				第 3 学 期	5 月 ～ 6 月			★期末考査		1				
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。						第 3 学 期	6 月 ～ 7 月	★期末考査		1				
総 時 間 数															54					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数				
教科名	国語			科目名	文学探究					D	学	特	進	文	理	文	特	理	看	第1学期	4月 ～ 5月	1	5		
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →							●												
教科書・副教材・（発行所）																									
① 教科書：文学国語（大修館：文国704） ② 問題集：文学国語 学習ノート（文国 704準拠） ③ ④																									
学 習 の 重 点 目 標																									
①文章の内容、構成、展開。描写などをとらえ、解釈できる読解力をつける。 ②他作品などと比較して読解し、文体の特徴や効果を考えたり、解釈を深めたりできるようにする。 ③解釈を他者と共有し、解釈の多様性について考える力をつけ、ものの見方、考え方、感じ方を深める。 ④体験に基づき、構成、表現などを工夫して、文学的文章を書く力を養う。																									
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度																
評価の趣旨	国語一般常識や文章の読解力を、小テストと定期考査で評価する。				考えたことを的確に表現できる力を、授業中の問いに対する解答やレポート・感想文作成、話し合いの様子等で評価する。				自ら進んで学習に取り組み、向上し続けようとする意欲を、授業中の態度や提出物、学期ごとの振り返りで評価する。																
評 価 の 基 準																									
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）																
					B＋		B－																		
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。																
思・判・表	探究的な課題やグループ活動で、自分の考えを他者に伝える適切な表現で述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動で、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動で、あまり自分の考えを表現することができている。																
	文章読解後の考えや感想を、レポートや感想文等で他者によく伝えるように的確に表現することができている。				文章読解後の考えや感想を、レポートや感想文等である程度伝えるように表現することができている。				文章読解後の考えや感想を、レポートや感想文等で表現することがあまりできていない。																
主体性・態度	学習に主体的に取り組み、積極的に発言したり、提出物を期限内に出したりすることができている。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。																
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。																
総 時 間 数																						54			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数
教科名	国語		科目名	文学国語											第 1 学期	4 月 ～ 5 月	第二章 大正の小説 「件」内田百閒	5	
単位数	2	学科	普通科	学年	3 年	該当するコース・科 →							●			第 1 学期	6 月 ～ 7 月	平成の小説 「ひよこの眼」山田詠美 平成の小説 「クリーム」村上春樹 ★期末考查	4 6 1
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																			
① 文学国語（数研出版） ② 文学国語 準拠ワーク（数研出版） ③ ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																			
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度										
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施				①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考查後に自己評価や振り返りを実施										
	評 価 の 基 準																		
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）										
					B＋		B－												
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。				定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考查と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができる。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。				探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。										
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。										
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。										
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。										
総 時 間 数															52				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数
教科名	国語		科目名	古典探究											第 1 学 期	4 月 ～ 5 月	古文編Ⅱ部 2. 歌物語を楽しむ 『伊勢物語―初冠―』	6	
単位数	2	学科	普通科	学年	3 年	該当するコース・科 →		●								第 2 学 期	6 月 ～ 7 月	古文編Ⅱ部 2. 歌物語を楽しむ 『大和物語―嫉捨―』 漢文編Ⅱ部 1. 小話を読む 『小話三編―宋襄之仁―』 【期末考查】	6 4 1
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																			
① 教科書：新編古典探究（東京書籍） ② 問題集：新編古典探究 学習課題ノート（東京書籍） ③ ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第 3 学 期	8 月 ～ 9 月	古文編Ⅱ部 3. 歴史物語を読む 『大鏡―道真の左遷―』 漢文編Ⅱ部 3. 史記を味わう 『廉頗と藺相如―刎頸之交―』 【中間考查】	6 7 1						
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・古典常識についての小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考查後に自己評価や振り返りを実施												
評 価 の 基 準																			
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）			第 3 学 期	10 月 ～ 11 月	漢文編Ⅱ部 3. 史記を味わう 『廉頗と藺相如―刎頸之交―』 古文編Ⅱ部 4. 歌話・歌論を読む 『無名抄―出で映えすべき歌のこと』 【期末考查】	4 9 1							
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。			B＋ 定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。		B－ 定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考查と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。											
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、自分の言葉で表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現したりすることができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができず、自分の考えを持ったり自分の言葉で表現したりする様子がほとんど感じられな				12 月 ～ 1 月	古文編Ⅱ部 5. 作り物語を味わう 『源氏物語―光源氏の誕生―』 【期末考查】	8 1							
	文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。		文章の読み取りほとんど取り組むことができず、思考力や判断力が身につけていない。													
主体性・態度	予習・復習するなど、粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。			2 月 ～ 3 月									
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容を考えることができていない。												
総 時 間 数															55				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容			時数				
教科名	国語		科目名	古典探究			D	学	進	文	理	文	理			第1学期	4月 ～ 5月	古文編 第Ⅱ部 4.日記 『紫式部日記』 「和泉式部と清少納言」	11				
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●					6月 ～ 7月		古文編 第Ⅱ部 4.日記〈読み比べ〉 『無名草子』 「紫式部のこと」 漢文編 第Ⅱ部 2.漢詩—古体詩 「桃夭」（詩経） 【期末考査】	10 5 1					
教科書・副教材・（発行所）															第2学期		8月 ～ 9月	漢文編 第Ⅱ部 1.故事・逸話 「水魚の交はり」 古文編 第Ⅱ部 3.物語(二) 『源氏物語』 「葵の上と物の怪」 【中間考査】	9 10 1				
① 教科書：精選古典探究（大修館書店） ②問題集：精選古典探究 学習ノート（大修館書店） ③ 参考書：大学入試新古文単語 3 3 6（文英堂） ④参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版） ⑤ 参考書：必携新明説漢文（尚文出版） ⑥新訂版常用国語便覧（浜島書店）																	10月 ～ 11月	漢文編 第Ⅱ部 3.史伝—『史記』列伝（司馬遷） 「刎頸の交はり」 古文編 第Ⅱ部 3.物語(一) 『大鏡』 「肝だめし」 【期末考査】	8 9 1				
学 習 の 重 点 目 標															第3学期	12月 ～ 1月	古文編 第Ⅱ部 3.物語(三) 『雨月物語』 「浅茅が宿」 【期末考査】	16 1					
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																2月 ～ 3月							
知識・技能																総 時 間 数			83				
思考・判断・表現																							
主体的に学習に取り組む態度																							
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・古典単語についての小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施						知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。		
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）			思・判・表	主体的にものごとを考え、表現したいことを明確にし、積極的に自分の言葉で他者と意見共有して自己を表現することができる。			表現したいことを明確にし、ある程度自分の言葉で考えを他者に伝えたり、自己を表現したりすることができる。			自分の考えを持ったり自分の言葉で考えを他者に伝えたりするなど、自己を表現する様子がほとんど感じられない。						
			B＋			B－			主体性・態度		応用的な文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な文章の読み取りにほとんど取り組むことができず、思考力や判断力が身につけていない。						
予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。 <td colspan="3">真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。</td> <td colspan="3">前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td>			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。																	
振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。 <td colspan="3">振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。</td> <td colspan="3">振り返るべき内容を考えることができていない。</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td>			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容を考えることができていない。																	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数
教科名	国語		科目名	古典探究											第 1 学期	4 月 ～ 5 月	古文編 第Ⅱ部 4. 日記 『紫式部日記』 「和泉式部と清少納言」		
単位数	2	学科	普通科	学年	3 年	該当するコース・科 →	●	第 2 学期	6 月 ～ 7 月	古文編 第Ⅱ部 4. 日記〈読み比べ〉 『無名草子』 「紫式部のこと」		9							
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																			
① 教科書：精選古典探究（大修館書店） ②問題集：精選古典探究 学習ノート（大修館書店） ③ 参考書：大学入試新古文単語 3 3 6（文英堂） ④参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版） ⑤ 参考書：必携新明説漢文（尚文出版） ⑥新訂版常用国語便覧（浜島書店）																			
学 習 の 重 点 目 標																			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第 2 学期	8 月 ～ 9 月	漢文編 第Ⅱ部 1. 故事・逸話 「水魚の交はり」 古文編 第Ⅱ部 3. 物語(二) 『源氏物語』 「葵の上と物の怪」 【中間考查】		6 7 1					
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・古典単語についての小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考查後に自己評価や振り返りを実施												
評 価 の 基 準																			
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）			第 3 学期	10 月 ～ 11 月	漢文編 第Ⅱ部 3. 史伝—『史記』列伝（司馬遷） 「刎頸の交はり」 古文編 第Ⅱ部 3. 物語(一) 『大鏡』 「肝だめし」 【期末考查】		7 6 1					
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。			定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。												
思・判・表	主体的にものごとを考え、表現したいことを明確にし、積極的に自分の言葉で他者と意見共有して自己を表現することができている。			表現したいことを明確にし、ある程度自分の言葉で考えを他者に伝えたり、自己を表現したりすることができている。			自分の考えを持ったり自分の言葉で考えを他者に伝えたりするなど、自己を表現する様子がほとんど感じられない。			第 3 学期	12 月 ～ 1 月	古文編 第Ⅱ部 3. 物語(三) 『雨月物語』 「浅茅が宿」 【期末考查】		10 1					
	応用的な文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身につけている。			応用的な文章の読み取りにほとんど取り組むことができず、思考力や判断力が身につけていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。			第 3 学期	2 月 ～ 3 月								
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容を考えることができていない。												
総 時 間 数																	58		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	国語			科目名	古典探究																
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →									●	●		第1 学期	4 月 ～ 5 月	随筆集 二月つごもり（枕草子） 故事 知音（呂紙春秋）	5 6
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																			★中間 考査	1	
① 教科書：高等学校 古典探究（数研出版：古探/711） ② 問題集：高等学校 古典探究 準拠ワーク（数研出版） ③ 参考書：大学入試新古文単語336（文英堂） ④参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版） ⑤ 参考書：必携新明説漢文（尚文出版） ⑥新訂版常用国語便覧（浜島書店）																					
①古文・漢文の読解を通して、文章の内容をとらえたり、文章を評価したり、自分の考えを深めたりできるようにする。 ②重要単語や句形、文法等の古典一般常識を身に着け、日本の伝統文化である古典作品を自分で読解できるようにする。 ③古典を鑑賞することによって、伝統的なものの見方・考え方に触れ、日本文化についての素養を身に																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2 学期	8 月 ～ 9 月	物語 車争い（源氏物語） 紫の上の死（源氏物語） 史伝 伯夷・叔斉（史記）	6 6 10 1					
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 古文単語等についての10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価					10 月 ～ 11 月	近世随筆 花（花月草紙） 漢詩 古体詩	10 9 1					
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第3 学期	12 月 ～ 1 月	近世小説 世界の借屋大将（日本永代蔵）	8 1					
					B＋		B－														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。								2 月 ～ 3 月	★期末 考査			
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 応用的な問題にも意欲的に取り組み、初見の古典を読解する能力を身に付けることができてい				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考え												
総 時 間 数																		81			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	地理歴史			科目名	世界史探究					D	学	特	進	進	特	特	看		第1学期	4月 ～ 5月		第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●										第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	5
教科書・副教材・(発行所)																		第2学期			6月 ～ 7月	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国
① 高校世界史 (山川出版社) ② ③ ④																			第9章 大交易・大交流の時代	5		
																			第10章 アジアの諸帝国の繁栄	2		
学 習 の 重 点 目 標																		第3学期	8月 ～ 9月	中間考査	1	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																				第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	5	
																				第12章 産業革命と環大西洋革命	5	
評 価 の 基 準																		第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	5			
																		第14章 アジア諸地域の動揺	3			
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	10月 ～ 11月	中間考査	1						
	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に着けるようにする。				世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時代の推移・比較・相互の関連性や現代世界とのつながりに着目し、歴史の課題を解決する視野を入れて構想する力、考察力を基に議論する力を養う。				世界の枠組みと展開に関わる諸事象について、よりより社会の実現を視野に課題を主体的に探究する態度を養うとともに、多面的な考察や我が国に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。						第15章 帝国主義とアジアの民族運動	9						
知・技	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)				第2学期	12月 ～ 1月	第16章 第一次世界大戦と世界の変容	9						
	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。 <td colspan="2">定期考査と小テストの合計得点が79～55点である。</td> <td colspan="2">定期考査と小テストの合計得点が54～30点である。</td> <td colspan="4">定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。</td> <th>期末考査</th> <th>1</th>				定期考査と小テストの合計得点が79～55点である。		定期考査と小テストの合計得点が54～30点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。						期末考査	1						
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				第3学期	2月 ～ 3月	第17章 第二次世界大戦と新しい国家秩序の形成	6						
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。				各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。				各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。						第18章 冷戦と第三世界の台頭	6						
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				第3学期	2月 ～ 3月	第19章 冷戦の終結と今日の世界	5						
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。						期末考査	1						
総 時 間 数																		86				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	地理歴史			科目名	世界史探究					D	学	特	進	文	理	文	理		看	護		
単位数	4	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →								●		●			第1学期	4月 ～ 5月	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 第12章 産業革命と環大西洋革命	6 6
教科書・副教材・（発行所）																						
① 詳説世界史（山川出版社） ② 詳説世界史整理ノート（山川出版社） ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に着けるようにする。				世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時代の推移・比較・相互の関連性や現代世界とのつながりに着目し、歴史の課題を解決する視野を入れて構想する力、考察力を基に議論する力を養う。				世界の枠組みと展開に関わる諸事象について、よりより社会の実現を視野に課題を主体的に探究する態度を養うとともに、多面的な考察や我が国に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。													
評 価 の 基 準																						
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）													
					B＋		B－															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が79～55点である。		定期考査と小テストの合計得点が54～30点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。													
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。													
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。				各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。				各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
総 時 間 数																				111		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	地理歴史		科目名	日本史探究											第 1 学期	4 月 ～ 5 月	第 9 章 幕藩体制の成立と展開 1.江戸幕府の成立 2.江戸初期の外交と文化 ◎中間考査	4 4 1
単位数	3	学科	普通科	学年	3 年	該当するコース・科 →		●							第 1 学期	6 月 ～ 7 月	3.幕政の安定 4.経済の発展 5.元禄文化 ◎期末考査	5 5 5 1
教科書・副教材・（発行所）																		
① 日本史探究 高校日本史 （山川出版社） ② ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
①日本史の楽しさに触れ、歴史上の出来事・人物などに興味を持たせ、苦手意識をなくすように学習させる。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価			第 2 学期								
評 価 の 基 準																		
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）												
				B＋	B－													
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。									
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。			第 3 学期									
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考え			2 月 ～ 3 月									
総 時 間 数															78			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	地理歴史			科目名	日本史探究					D	学	進	文	理	文	理	護		第1学期	4月 5月	
単位数	4	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →								●				第2学期			6月 7月
教科書・副教材・（発行所）																			第3学期	8月 9月	
① 教科書：『詳説 日本史』（山川出版社705） ② 副教材：『詳説 日本史 整理ノート』（山川出版社） ③ ④																		第4学期			10月 11月
学 習 の 重 点 目 標																			第5学期	12月 1月	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第6学期			2月 3月
学 習 の 重 点 目 標																			第7学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第8学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第9学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第10学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第11学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第12学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第13学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第14学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第15学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第16学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第17学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第18学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第19学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第20学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第21学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第22学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第23学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第24学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第25学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第26学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第27学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第28学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第29学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第30学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第31学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第32学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第33学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第34学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第35学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第36学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第37学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第38学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第39学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第40学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第41学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第42学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第43学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第44学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第45学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第46学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第47学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第48学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第49学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第50学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第51学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第52学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第53学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第54学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第55学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第56学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第57学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第58学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第59学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第60学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第61学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第62学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第63学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第64学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第65学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第66学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第67学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第68学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第69学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第70学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第71学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第72学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第73学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第74学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第75学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第76学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第77学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第78学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第79学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第80学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第81学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第82学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第83学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第84学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第85学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第86学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第87学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第88学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第89学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第90学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第91学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第92学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第93学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第94学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第95学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第96学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第97学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第98学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第99学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第100学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第101学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第102学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第103学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第104学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第105学期	総 時 間 数	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		第106学期			総 時 間 数
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																			第107		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学		習	内	容	時数
教科名	地理歴史			科目名	日本史探究					D	学	特	進	文	進	理	特		文	特	理	護		
単位数	4	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →											●							
教科書・副教材・（発行所）																								
① 教科書：『詳説 日本史』（山川出版社705）																								
② 副教材：『詳説 日本史 整理ノート』（山川出版社）																								
③																								
④																								
学 習 の 重 点 目 標																								
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																								
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第1学期	4月	第Ⅳ部 第12章 1 明治維新と富国強兵		3							
	①定期考查の出来具合 教科書、授業プリントの内容 を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施				①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価 章ごとに振り返りを実施						2 立憲国家の成立		3							
評 価 の 基 準																								
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第2学期	5月	第Ⅳ部 第13章 1 日清・日露戦争と国際関係		3							
					B＋		B－								2 第一次世界大戦と日本		2							
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考查と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				第3学期	6月	★中間考查		1							
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。								7月	第Ⅳ部 第13章 3 ワシントン体制		3						
主体性・態度	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。				各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。		各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。						8月	第Ⅳ部 第14章 1 近代産業の発展		3								
	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。							9月	2 近代文化の発達		3							

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	公民		科目名	倫理			単位数	2	学科										普通科	学年	
教科書・副教材・（発行所）																					
① 教科書：倫理（数研出版：倫理704） ② 問題集：倫理整理ノート（数研出版） ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。さらに、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。																					
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2 学期	8 月 ～ 9 月	第3節儒学の需要と国学の発達 第4節西洋思想の受容と近現代の日本の思想 ★中間考査	4 7 1					
	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容 を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施				①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②発表の内容 探究課題について発表を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価												
	評 価 の 基 準																				
	知・技	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）													
						B＋	B－														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	探究的な課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題にあまり取り組むことができていない。												
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。				各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。				各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。												
主体性・態度	粘り強く課題に取り組み、授業中の発問に対しても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
総 時 間 数																		51			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	公民		科目名	政治経済												学 習 内 容	時数		
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →		●							第1 学期	4 月 ～ 5 月	第1編 第1章 第3節②経済主体と経済循環 ③国民経済の大きさと経済成長 ④物価と景気変動 ⑤市場の失敗と公害・消費者問題 ★中間考査	1 2 2 1	
教科書・副教材・（発行所）																			
① 教科書：『高等学校 政治・経済』（第一学習社706） ② ③ ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力をもつ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価			第2 学期	8 月 ～ 9 月	第6節 経済活動と社会福祉の向上 ①日本経済の変化と中小企業・農業問題 ②労使関係と労働問題 ③社会保障制度と福祉のあり方 ★中間考査						4 4 5 1	
											10 月 ～ 11 月	第2編 第1章 第1節 国際法の果たす役割 ①国際社会の変遷 ②国際法の意義 ③国際機構の役割 ★期末考査						4 4 5 1	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			第3 学期	12 月 ～ 1 月	第4節 国際経済において求められる日本の役割 ①国際経済における日本の地位と国際協力 ★期末考査						9 1	
											2 月 ～ 3 月								
総 時 間 数																			50

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	公民			科目名	政治経済					C	D	進	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 5月	復習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。 第1編第1章現代日本の政治・経済 第1節日本国憲法と現代政治のあり方	7
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →							●					学 期		6月 7月	★中間考査	1
教科書・副教材・（発行所）																						
①教科書：高等学校 政治経済（第一学習社：政経706） ② ③ ④																		第1学期	6月 7月	★中間考査	1	
学 習 の 重 点 目 標																			第2学期	8月 9月	★期末考査	1
民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。そして、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を持つ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。また、学習した概念・理論を考察・選択・判断の手がかりとして、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。																		第2学期		10月 11月	★期末考査	1
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第3学期	12月 1月	★期末考査	1						
	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施				①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②発表の内容 探究課題について発表を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価					学 期	2月 3月	★期末考査	1					
評 価 の 基 準																		第3学期	2月 3月	★期末考査	1	
知・技	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第3学期	2月 3月	★期末考査	1						
	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。					第3学期	2月 3月	★期末考査	1					
思・判・表	探究的な課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題にあまり取り組むことができていない。				第3学期		2月 3月	★期末考査	1					
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。				各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。				各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。					第3学期	2月 3月	★期末考査	1					
主体性・態度	粘り強く課題に取り組み、授業中の発問に対しても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				第3学期		2月 3月	★期末考査	1					
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。					第3学期	2月 3月	★期末考査	1					
総 時 間 数																		50				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	公民			科目名	政治経済					D	学	進	文	理	文	理	護	第1学期	4月	第1編第1章第3節 1 経済活動と市場 2 経済主体と経済循環	4 2
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →								●			5月		★中間考査	1	
教科書・副教材・（発行所）																					
① 教科書：高等学校 政治経済（第一学習社：政経706） ② ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。そして、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を持つ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。また、学習した概念・理論を考察・選択・判断の手がかりとして、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	8月	第5節1 金融のしくみとはたらき 第6節1 日本経済の変化と中小企業・農業問題 2 労使関係と労働問題 3 社会保障制度と福祉のあり方 ★中間考査	3 3 3 3 1					
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容 を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施				①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②発表の内容 探究課題について発表を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価					9月							
														10月	第2編第1章第1節1 国際社会の変遷 2 国際法の意義 3 国際機構の役割 4 国際紛争と軍縮への取り組み ★期末考査	2 2 3 2 1					
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）					第3学期	12月	第2節1 日本の安全保障と国際貢献 第3節1 貿易の現状と意義 2 国民経済と国際収支 3 為替相場の変動	3 3 2 2				
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				B＋		B－		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。						1月						
					B＋		B－						2月	★期末考査	1						
思・判・表	探究的な課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題にあまり取り組むことができていない。				3月								
主体性・態度	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。				各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。				各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。												
主体性・態度	粘り強く課題に取り組み、授業中の発問に対しても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												
主体性・態度	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
総 時 間 数																		52			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	公民		科目名	政治・経済																	
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →															
教科書・副教材・（発行所）																					
① 高等学校 政治・経済 （第一学習社）																					
②																					
③																					
④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力をもつ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 考查の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考查毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考查後の振り返り課題レポートの記述内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考查後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価												
	評 価 の 基 準																				
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）												
					B＋		B－														
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考查と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。												
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
総 時 間 数																		51			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	数学		科目名	数学Ⅱ															
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →		●								第 1 学 期	4 月 ～ 5 月	3章 いろいろな関数 1節 三角関数 一般角 三角関数 三角関数の相互関係、三角関数の性質 三角関数のグラフ ★中間考査	8 1
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)															6 月 ～ 7 月		2節 加法定理／弧度法 加法定理，加法定理の応用，弧度法 3節 指数関数 指数の拡張（1） 累乗根 指数の拡張（2），指数関数のグラフ ★期末考査	16 1	
① 高校数学Ⅱ（実教出版） ② ステップノート数学Ⅱ 新課程版 （実教出版） ③ ④																	8 月 ～ 9 月	4節 対数関数 対数，対数の性質 対数関数のグラフ 常用対数 4章 微分と積分 1節 微分の考え ★中間考査	16 1
学 習 の 重 点 目 標																		10 月 ～ 11 月	微分係数，導関数，接線 関数の増加・減少 関数の極大・極小 関数の最大・最小 2節 積分の考え 不定積分 ★期末考査
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度					第 2 学 期	12 月 ～ 1 月	2節 積分の考え 定積分 面積 いろいろな図形の面積 ★期末考査	14 1				
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価			評 価 の 基 準			2 月 ～ 3 月						
										A（十分満足できる状況）							B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
				B＋		B－											第 3 学 期		
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。											
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。												
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
															総 時 間 数		78		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学		科目名	数学Ⅱ														
単位数	3	学科	普通科	学年	3 年	該当するコース・科 →					●				第 1 学期	4 月 ～ 5 月	第 6 章 微分法と積分法 (第 6 章の第 1 節の途中までは 2 年次に学習済み) 第 1 節 微分係数と導関数 第 2 節 関数の値の変化	3 8
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																6 月 ～ 7 月	★中間 ★期末	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	数学			科目名	数学Ⅲ					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	第2章 極限 (第2章の第1節の途中までは2年次に学習済み) 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限	4 8	
単位数	4	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →								●								
教科書・副教材・(発行所)																						
①教科書：高等学校 数学Ⅲ（数研出版：数Ⅲ709） ②補助教材：高等学校 数学Ⅲ ナビゲーションノート（数研出版） ③問題集：4プロセス 数学Ⅲ＋C（複素数平面，式と曲線）（数研出版） ④補助教材：4プロセス 数学Ⅲ 完成ノート（数研出版）																						
学 習 の 重 点 目 標																						
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。 ①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。 ②事象を数学的に考察し、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。 ③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	8月 ～ 9月	第4章 微分法の実用 第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用	12 14						
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価													
	評 価 の 基 準																					
		A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）							第3学期	10月 ～ 11月	第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分 第2節 定積分 第3節 積分法の応用	6 7 13		
	知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				第3学期	12月 ～ 1月	大学入試共通テスト対策問題演習	18						
	応用的な問題にも計画的に組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に積極的に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に積極的に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				第3学期	2月 ～ 3月								
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
総 時 間 数																		105				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数					
教科名	数学		科目名	数学Ⅲ			単位 数	5	学科										普通科	学年		3 年	該当するコース・科 →		第 1 学 期	4 月 ～ 5 月
教科書・副教材・（発行所）																		第 1 学 期	6 月 ～ 7 月	第 2 学 期	8 月 ～ 9 月	10 月 ～ 11 月	12 月 ～ 1 月	2 月 ～ 3 月	総 時 間 数	135
① 教科書：高等学校数学Ⅲ （数研出版） ② 問題集：4 プロセス数学Ⅲ＋C ③ 参考書：チャート式 基礎からの数学Ⅲ＋C （数研出版） ④																										
学 習 の 重 点 目 標																										
①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																										
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第 2 学 期	10 月 ～ 11 月	12 月 ～ 1 月	2 月 ～ 3 月	総 時 間 数	135								
	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容の評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容の評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容の評価																	
	評 価 の 基 準																									
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）																	
					B＋				B－																	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。													
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。																	
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。																	
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。																	
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。																	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学	習	内	容	時数
教科名	数学			科目名	数学C			D	学	進	特	進	進	特	特	看				
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →						●					第1学期	4月 ～ 5月	第1章 平面上のベクトル (第1章の第1節の途中までは2年次に学習済み) 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	8
教科書・副教材・(発行所)																				
①教科書：高等学校 数学C (数研出版：数C709) ②補助教材：高等学校 数学C ナビゲーションノート (数研出版) ③補助教材：4プロセス 数学C 完成ノート (数研出版) ④補助教材：攻略！共通テスト 数学I+A, II+B+C (東京書籍)																				
学習の重点目標																				
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。 ①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。 ②統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 ③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																				
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度										第2学期	8月 ～ 9月	問題演習 第1章 数と式・2次方程式 第2章 2次関数	21
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価												★中間考査	1
評価の基準																				
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)										第3学期	10月 ～ 11月	第3章 図形と計量 第4章 集合と論証 第5章 データの分析	19
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。									★期末考査	1
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。									第6章 場合の数と確率 第7章 図形の性質 第8章 完成問題	15
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。									★期末考査	1
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。										
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。										
総 時 間 数																				84

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学		科目名	数学C			D	学	進	文	理	文	理		第1学期	4月 ～ 5月	第1章 平面上のベクトル (第1章の第1節の途中までは2年次に学習済み) 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	4 7
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●						★中間考査	1
教科書・副教材・(発行所)																		
①教科書：高等学校 数学C (数研出版：数C709) ②補助教材：高等学校 数学C ナビゲーションノート (数研出版) ③問題集：4プロセス 数学Ⅲ+C (複素数平面，式と曲線) (数研出版) ④補助教材：4プロセス 数学C 完成ノート (数研出版)																		
学 習 の 重 点 目 標																		
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。 ①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。 ②統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 ③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価											
評 価 の 基 準																		
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)												
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。												
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
総 時 間 数															82			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学			科目名	数学C					D	進	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	8
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →									●					★中間考査	1
教科書・副教材・（発行所）																					
①教科書：高等学校 数学C （数研出版） ②副教材：4プロセス 数学Ⅱ、B+C （数研出版） ③参考書：チャート式 数学Ⅱ、B+C （数研出版） ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																					
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度														
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価														
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）														
B＋				B－																	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。													
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。														
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。														
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														
総 時 間 数																		80			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学		科目名	数学C			単位 数	3	学科										普通科	学年	
教科書・副教材・(発行所)																					
①教科書：高等学校 数学C (数研出版)																					
②副教材：4プロセス 数学Ⅱ、B+C (数研出版)																					
③参考書：チャート式 数学Ⅱ、B+C (数研出版)																					
学 習 の 重 点 目 標																					
①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																					
②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第 2 学 期	8 月 ～ 9 月	学 習 内 容		時数				
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容の評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容の評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容の評価						第2章 空間のベクトル 大学入試共通テスト対策問題演習			10 8 1			
評 価 の 基 準																					
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)				第 3 学 期	10 月 ～ 11 月	学 習 内 容		時数				
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。						★期末考査			1			
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				12 月 ～ 1 月	大学入試共通テスト対策問題演習		14					
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。					★期末考査			1				
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				2 月 ～ 3 月								
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
総 時 間 数																		79			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学		科目名	数学探究											第 1 学期	4 月 ～ 5 月	1 数の計算 2 比率と割合・比例と反比例 3 文字式・整式の計算 4 乗法公式による展開と因数分解 問題演習 ★中間考査	2 2 2 2 3 1
単位数	2	学科	普通科	学年	3 年	該当するコース・科 →		●							第 1 学期	6 月 ～ 7 月	5 無理数の計算 6 1 次方程式 7 2 次方程式 8 不等式 問題演習 ★期末考査	2 2 2 2 3 1
教科書・副教材・（発行所）																		
① 完全攻略 高校生の基礎数学トレーニング（実教出版） ② 独自プリント ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 テキストで学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価											
	評 価 の 基 準																	
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）												
				B＋	B－													
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができる。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。												
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
総 時 間 数															60			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数			
教科名	数学		科目名	数学探究											第 1 学 期	4 月 ～ 5 月	(数学Ⅱ+B+Cの部分を履修する) 第1章 方程式・式と証明 実数の性質・複素数 解と係数の関係・高次方程式			15		
単位数	4	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●															
教科書・副教材・(発行所)																						
① 東京書籍 攻略! 共通テスト																						
学 習 の 重 点 目 標																						
①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																						
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第 2 学 期	8 月 ～ 9 月	第3章 三角関数 三角関数のグラフ 加法定理 三角関数の合成と最大最小 三角方程式・三角不等式 解の個数、図形への応用 サイン・コサインの二次式の最大最小 ★中間考査		25								
	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価					1										
	評 価 の 基 準																					
	知・技	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)					10 月 ～ 11 月		第4章 指数関数・対数関数 対数不等式 指数関数の最大最小 常用対数と桁数 指数方程式の解の存在範囲 第5章 微分と積分 極限 接線の方程式 3次関数のグラフ 図形の面積 定積分を含む関数 ★期末考査	23						
		定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。									1					
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができる。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			12 月 ～ 1 月	第6章 数列 等差数列 等比数列 階差数列 数学的帰納法 群数列 漸化式 第7章 統計的な推測 確率変数の平均・分散・標準偏差 2項分布 正規分布 連続型確率変数 確率密度関数 母平均の仮説検定・推定・仮説検定 ★期末考査	20										
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。						1									
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			2 月 ～ 3 月												
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができる。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。															
総 時 間 数															108							

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	理科		科目名	物理												学 習 内 容	時数		
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →						●		●		第1 学期	4月 ～ 5月	第3部 波動 第1章 波の性質 第2章 音波 第3章 光波 波動問題演習 【中間考査】	5 5 5 4 1
教科書・副教材・（発行所）																	6月 ～ 7月	第4部 電磁気 第1章 電場と電位 1節 静電気 2節 電場 3節 電位 4節 コンデンサー 電場と電位 問題演習 【期末考査】	1 3 3 3 3
① 高等学校物理 啓林館（703） ② ステップアップノート物理 新訂版 サンダイヤル 啓林館 ③ 大学入学共通テスト チェック&演習物理 新課程 数研出版 ④																			
学習の重点目標 主体的に物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第2 学期	8月 ～ 9月	第5部 原子・分子の世界 第1章 電子と光 1節 電子の電荷と質量 2節 光の粒子性 3節 X線 4節 粒子の波動性 【期末考査】	4 5 5 4 1						
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施			①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施												
評価の基準																10月 ～ 11月	第2章 電流 1節 電流 2節 直流回路 3節 半導体 回路 問題演習 第3章 電流と磁場 第4章 電磁誘導と電磁波 電磁気 問題演習 【中間考査】	5 1 5 5 2 1	
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）													
				B+	B-														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から発展まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストば合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			第3 学期	12月 ～ 1月	第2章 原子・原子核・素粒子 1節 原子モデル 2節 原子核と放射線 3節 核反応と核エネルギー 4節 素粒子と宇宙 問題演習 【期末考査】	3 3 3 3 1 1					
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。													
主体性・態度	発展的な内容も意欲的に学習し、身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。			発展的な内容も学習し、ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。		発展的な内容を学習することができていない。													
	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言できている。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。													
	振り返るべき内容をきちんと考え、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容は考えられているが、次の取り組みに活かすことがあまりできていない。		振り返るべき内容をあまり考えられていない。			2月 ～ 3月										
総 時 間 数																85			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	理科		科目名	化学基礎														
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →		●							第1 学期	4月 ～ 5月	1章 物質の構成 1節 物質の探究 1 純物質と混合物 2 混合物の分離① 3 混合物の分離② 4 単体と元素 5 元素の確認 ★ 中間考査	2 3 2 2 1
教科書・副教材・（発行所）																		
① 教科書：実教出版 高校化学基礎 705 ② ノート：実教出版 高校化学基礎 エブリィノート 授業のまとめ 705 ③ 問題集：実況出版 高校化学基礎 カラーノート ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
① 主体的に自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。 ② 主体的に物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何ができるかを評価する。 ②小テスト 普段の学習の過程を通した知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。			①レポートの作成・提出 単元ごとに探求レポートを実施する。 ②グループでの話し合い・発表・相互評価 単元ごとにグループ活動を実施する。 ①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、			①授業中の態度、発言や記述の内容 ②提出物の内容 プリントや副教材の問題集の出来具合（すべての問題ができているか、答え合わせややり直しなどができているかなど）。 ③振り返り・自己評価 定期考査や小テスト、グループ活動後に自己の学習を自己評価してより主体的に学ぼうとする姿勢があるか。											
評 価 の 基 準																		
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）											
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			B＋		B－	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。											
				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。											
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。											
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。											
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考え											
総 時 間 数															81			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数							
教科名	理科		科目名	化学											第 1 学期	4 月 ～ 5 月	3 章 無機物質 3 節 金属元素 4 章 有機化合物 1 節 有機化合物の特徴と分類			9 6 6						
単位数	4	学科	普通科	学年	3 年	該当するコース・科 →		第 2 学期	6 月 ～ 7 月	2 節 脂肪族炭化水素 3 節 酸素を含む脂肪族化合物		6 8														
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)															第 3 学期	8 月 ～ 9 月	4 節 芳香族化合物 5 章 高分子化合物 1 節 高分子化合物 2 節 天然高分子化合物		10 1 12							
① 教科書：化学704「化学」（実教出版） ② 副教材：アクセスノート化学（実教出版），大学入学共通テスト対策チェック&演習化学 ③ ④																	第 4 学期	10 月 ～ 11 月		3 節 合成高分子化合物		20				
学 習 の 重 点 目 標															第 5 学期	12 月 ～ 1 月			受験対策		20					
化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことなどを通して、化学的な事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のように育成することを目指す。(1)化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に着けるようにする。(2)観察、実験などを行い、化学的に探究する力を養う。(3)化学的な事物・事象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。																	第 6 学期	2 月 ～ 3 月								
評 価 の 基 準															第 7 学期	総 時 間 数			98							
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）			知・技	思・判・表	主体性・態度														
					B＋	B－																				
定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。															定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			
探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。															探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。							
応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。															応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。							
予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。															真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。							
振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。															振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。							

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数
教科名	理科		科目名	化学											第 1 学期	4 月 5 月	3 章 無機物質 3 節 典型金属元素 4 節 遷移金属元素		
単位数	4	学科	普通科	学年	3 年	該当するコース・科 →		第 2 学期	6 月 7 月	4 章 有機化合物 1 節 有機化合物とその構造 2 節 脂肪族炭化水素 3 節 酸素を含む脂肪族化合物 4 節 芳香族化合物 5 章 高分子化合物 1 節 高分子化合物 2 節 天然高分子化合物		5 5 6 8 2 10							
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																			
① 教科書：化学703「化学academia」（実教出版） ② 副教材：エクセル化学総合版（実教出版），大学入学共通テスト対策チェック&演習化学 ③ ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことなどを通して、化学的な事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のように育成することを目指す。(1)化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に着けるようにする。(2)観察、実験などを行い、化学的に探究する力を養う。(3)化学的な事物・事象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。																			
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度										
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 考查の問題は教科書や副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考查毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②振り返りシートや課題提出の記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考查後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価										
評 価 の 基 準																			
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）												
					B＋	B－													
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。				定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考查と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。												
	応用的な問題にも計画的に組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
総 時 間 数																			94

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	理科		科目名	生物			C	D	学	特	進	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	3編2章 発生と遺伝子発現 1～4節	8	
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →							●		●			6月 ～ 7月	3編2章 発生と遺伝子発現 5～7節 3編3章 遺伝子を扱う技術 1～4節 4編1章 動物の刺激の受容と反応 1～2節	4 4 8	
教科書・副教材・（発行所）																		【中間考査】	1		
① 生物・ニューグローバル生物・（東京書籍） ② ③ ④																		【期末考査】	1		
学 習 の 重 点 目 標																	第2学期	8月 ～ 9月	4編1章 動物の刺激の受容と反応 3～7節 4編2章 動物の行動 1～3節 4編3章 植物の環境応答 1～4節	12 2 6	
自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。																		10月 ～ 11月	4編3章 植物の環境応答 5～9節 5編1章 個体群と生物群集 1～4節	10 10	
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第3学期	12月 ～ 1月	5編1章 個体群と生物群集 5～6節 5編2章 生態系の物質生産と物質循環 1～2節 5編3章 生態系と人間生活 1～4節	3 3 8								
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施			①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施				2月 ～ 3月	【期末考査】	1								
	評 価 の 基 準																	総 時 間 数		83	
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）			知・技	B＋			B－			思・判・表	主体性・態度			
	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり，基本から発展まで万遍なく理解することができる。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				定期考査と小テストば合計得点が30点未満であり，基本的な知識や概念があまり理解できていない。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。					定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		
探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み，自分の考えを発表したり，適切に表現することができる。				探究的な課題やグループ活動に取り組み，ある程度自分の考えを述べたり，表現することができる。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				発展的な内容を学習することができていない。					
発展的な内容も意欲的に学習し，身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。				発展的な内容も学習し，ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。				発展的な内容を学習することができていない。				発展的な内容を学習することができていない。				予習・復習をして粘り強く学習に取り組む，グループ活動においても積極的に発言できている。					
真面目に学習に取り組んではいるが，もう少し積極性を要する部分がある。				振り返るべき内容は考えられていないが，次の取り組みに活かすことがあまりできていない。				振り返るべき内容をあまり考えられていない。													

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	理科		科目名	理科探究			D	学	特	進	進	特	特	護		第 1 学期	4月 ～ 5月		5月 ～ 7月
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●						第 2 学期	8月 ～ 9月	10月 ～ 11月
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)															第 3 学期	12月 ～ 1月		2月 ～ 3月	
① 数研出版 大学入学共通テストチェック&演習 化学基礎 ② 数研出版 大学入学共通テストチェック&演習 生物基礎 ③ ④																総 時 間 数	58		
学 習 の 重 点 目 標																			
大学入学共通テストに対処できるような力を身につける。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何ができるかを評価する。 ②小テスト 普段の学習の過程を通した知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。			①レポートの作成・提出 単元ごとに探求レポートを実施する。 ②グループでの話し合い・発表・相互評価 単元ごとにグループ活動を実施する。 ①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を評価する。			①授業中の態度、発言や記述の内容 ②提出物の内容 プリントや副教材の問題集の出来具合（すべての問題ができているか、答え合わせややり直しなどができているかなど）。 ③振り返り・自己評価 定期考査や小テスト、グループ活動後に自己の学習を自己評価してより主体的に学ぼうとする姿勢があるか。												
評 価 の 基 準																			
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）												
				B＋	B－														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			1						
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。												
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
															総 時 間 数				58

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数					
教科名	理科			科目名	理科探究					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	3編 ヒトの体の調節 1章 体内環境と情報伝達 2章 免疫のはたらき	4 4					
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →									●											
教科書・副教材・（発行所）																										
① 大学入学共通テスト対策チェック&演習化学基礎(数研出版)																			【中間考査】	1						
② 大学入学共通テスト対策チェック&演習生物基礎(数研出版)																										
③ 教科書：生物基礎701（東京書籍）																										
④ 副教材：ニューグローバル生物基礎（生物基礎）																										
学 習 の 重 点 目 標																										
自然界のさまざまな事象を科学的に理解することによって、そこから自主的に問題を発見し、探究の過程を通して科学的な思考力、判断力、および表現力を養うとともに、受験対応能力を身に付ける。																										
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	8月 ～ 9月	チェック&演習化学基礎		チェック&演習生物基礎		6 6 6							
評価の趣旨	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何ができるかを評価する。 ②小テスト 普段の学習の過程を通した知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。				①レポートの作成・提出 単元ごとに探求レポートを実施する。 ②実験・グループ活動 実験やグループワークなどを実施し、話し合い、発表、相互評価を実施する。 ①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、				①授業中の態度、発言や記述の内容 ②提出物の内容 プリントやノート等のまとめ具合を評価 ③振り返り・自己評価 定期考査や小テスト、グループ活動後に自己の学習を自己評価してより主体的に学ぼうとする姿勢があるか。						第1章 物質の構成		第1章 生物の特徴									
															第2章 物質の構成粒子		第2章 遺伝子とその働き									
														第3章 粒子の結合		第3章 体内環境の恒常性										
														評 価 の 基 準												
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第3学期	10月 ～ 11月	チェック&演習生物基礎 第4章 体内環境の調節と免疫 第5章 植生の多様性と分布 第6章 生態系とその保全		6 6 7									
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本的な概念や原理・法則などを理解することができている。また、基本問題よりも高度な解決能力を要する問題にも対応できる。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な概念や原理・法則などをあまり理解することができている。																	
																		思・判・表	探求レポートやグループ活動に能動的に取り組む、自分の考えや意見を発表したり、適切に表現できる。				探求レポートやグループ活動に取り組む、ある程度自分の考えや意見を発表したり、表現できる。			
														発展・応用的な問題にも、筋道をたてて考える力や図やグラフなどを読み取り情報を活用する力を身につけることができる。												
主体性・態度	自然の事物・現象に主体的に関わりや見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。				自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることができる。				自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることがあまりできない。																	
													毎回の授業に真剣に取り組む、提出物の出来具合も非常に良い。また、授業での積極的な発言やグループ活動での振り返りが見られるなど主体的に学習に取り組む態度が見られる。				毎回の授業に真剣に取り組む、提出物も出ており満足できる内容である。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性がある。もう少し必要である。				毎回の授業に対する姿勢や態度があまり前向きでない。提出物の内容も不十分であり、取り組みが雑でやや熱心さに欠ける。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性がある。もう少し必要である。					
総 時 間 数																									78	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	外国語【英語】			科目名	英語コミュニケーションⅡ					D	学	進	文	理	文	理	護		第1学期	Lesson 6 Smart Agriculture		10	
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●									学 期	Lesson 7 A Martial Art on Tatami		15
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																		6月 ～ 7月					
① VISTA English Communication Ⅱ（三省堂） ② VISTA English Communication Ⅱ WORKBOOK（三省堂） ③ 英単語ターゲット1200 ④ 英単語ターゲット1200 WORKBOOK③																							
学 習 の 重 点 目 標																		8月 ～ 9月		Lesson 8 Biologging		16	
音読を通して、英文を読む力を養う。表現力（話す、書く）を養う。日本や英語圏の文化、歴史に興味、関心を持つことができる。																							
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	10月 ～ 11月		16							
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。				課題や提出物の出来具合により評価する。				日常の学習態度、ペアワークでの積極的な活動などを評価する。					Enjoy Reading 1 The Open Window		13							
評 価 の 基 準																		第3学期	2月 ～ 3月				
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）					総 時 間 数		70							
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。														
思・判・表	課題や提出物にも計画的に取り組む、適切に表現し理解することができている。				課題や提出物にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。				課題や提出物にあまり取り組むことができていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。振り返るべき内容を表現することが十分できている。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				真面目に学習に取り組むことができない。振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														
	音読やペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				音読やペアワーク活動に取り組む、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。				音読やペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。														

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数			
教科名	外国語【英語】			科目名	英語コミュニケーションⅢ					D	学	特	進	進	特	特	看		第1学期	Lesson 1 Incredible Edible				
単位数	4	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →						●								4月	Part 1	4		
教科書・副教材・（発行所）																				第1学期	5月	Part 2	3	
① LANDMARK Fit English Communication Ⅲ（啓林館）																					5月	Part 3	3	
② LANDMARK Fit English Communication Ⅲ WORKBOOK（啓林館）																					5月	Part 4	4	
③ 英単語ターゲット1400（旺文社）																					★中間考査		1	
④ 英単語ターゲット1400 Workbook 2,3（旺文社）																				第1学期	6月	Lesson 3 Biomimetics		
学 習 の 重 点 目 標																					6月	Part 1	5	
基本的な文法事項を理解し、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、学んだ事項を応用しながら、自分の意見や考えを表現し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																					6月	Part 2	5	
																					7月	Part 3	5	
																				7月	Part 4	5		
																				★期末考査		1		
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度														第2学期	8月	Lesson 4 Political Correctness	
	小テスト及び定期考査による合計得点で評価する。授業内で取り上げた内容とワークブックから出題する。			提出物の出来具合や授業内での発言やグループ活動での発表内容で評価する。			提出物の提出状況や授業内での発言や授業への参加などの積極性を評価する。															8月	Part 1	6
																						9月	Part 2	6
																						9月	Part 3	6
																				第2学期	9月	Part 4	7	
																					★中間考査		1	
																					第2学期	10月	Lesson 5 Saving Our Treasures from the Sea	
																						10月	Part 1	5
																				11月		Part 2	6	
																				11月		Part 3	6	
																				11月	Part 4	6		
																				★期末考査		1		
知・技	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）														第3学期	12月	Lessson 7 Jose Mujica: The World's Poorest President	
				B＋			B－															12月	Part 1	4
	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基礎を理解し、それを応用することができる。			定期考査と小テストの合計が55～79点であるとき。			定期考査と小テストの合計が30～54点であるとき。															1月	Part 2	4
																						1月	Part 3	4
思・判・表																					第3学期	1月	Part 4	5
	グループ活動や発表で積極的に発言でき、自分の意見をわかりやすく述べることができる。			課題の内容で不正確な部分はあるが、学んだ事項を使いながら、正しい文章を作ろうとしているとき。			課題や提出物に取り組めておらず、授業内でも既習事項の適切な表現を使うことができていないとき。															★期末考査		1
	課題の内容から、学んだ事項が身についていると見受けられたとき。																					2月		
主体性・態度																					第3学期	3月		
	提出物が期限内に提出されており、自己の学習内容が定着していると考えられるとき。			提出物を最終提出期限内に提出できている。既習事項が定着していると考えられるとき。			提出物が提出されておらず、自己の学習が定着していることが見受けられないとき。															総 時 間 数		104
	主体的に授業や活動に取り組んでおり、授業内でも積極的に発言できている。			授業内での発言をためらう傾向にあるが、授業やペア、グループでの活動に参加しようとしている。			ペアワークやグループ活動や発表にあまり積極的でない。参加しようという意欲が見られない。																	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	外国語【英語】		科目名	英語コミュニケーションⅢ												第 1 学期	4 月 ～ 5 月		学 習 内 容
単位数	4	学科	普通科	学年	3 年	該当するコース・科 →							●	●		第 1 学期	4 月 ～ 5 月	◎Introduction ◎LESSON3：Saving Our Treasures from the Sea	1 10
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																			
① 教科書：LANDMARK English Communication Ⅲ（啓林館） ② 問題集：LANDMARK English Communication Ⅲ ワークブック（啓林館） ③ 副教材：改訂第2版 キクタン【Basic】4000 語レベル（アルク） ④ 副教材：改訂第2版 キクタン【Advanced】6000 語レベル（アルク）																			
学 習 の 重 点 目 標																			
外国語によるコミュニケーションにおいて、以下の5つの領域でそれぞれの見方・考え方を働かせる事 を目標とする。また、言語活動やそれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的 確に理解したり、適切に表現し伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 （1）聞くこと（2）読むこと（3）話すこと〔やり取り〕（4）話すこと〔発表〕（5）書くこと																			
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度										
評価の趣旨	①定期考査の得点 （教科書および副教材、単語帳 の内容を中心に作問） ②小テストの得点 （単語帳の内容に関して毎週 小テストを実施）				①グループ・ペア活動の内容 （英語で自分の考えを表現する 活動を定期的に実施） ②レポート・プレゼンの内容 （単元ごとに課題を実施）				①授業中の態度・意欲 ②ペア・グループ活動の態度・ 意欲 ③提出物の状況（問題集）					第 2 学期	8 月 ～ 9 月	◎受験対策	25		
																10 月 ～ 11 月	☆中間考査 ◎受験対策	1 22	
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）										
					B＋		B－												
知・技	定期考査と小テストの合計得点 が80点以上であり、基本から 応用まで万遍なく理解すること ができている。				定期テストと小 テストの合計得 点が55～79 点である。		定期テストと小 テストの合計得 点が30～54 点である。		定期考査と小テストの合計得点 が30点未満であり、基本的な 知識や概念があまり理解できて いない。					第 3 学期	12 月 ～ 1 月	☆期末考査 ◎受験対策	1 16		
思・判・表	探究的な課題やグループ・ペア 活動に積極的に取り組み、自分 自身の考えを発表したり、適切 に表現できている。 日常や社会的な話題について英 語を通して十分に理解し、自分 自身の考えをしっかりとまとめ ることができている。				探究的な課題やグループ・ペア 活動に取り組み、ある程度自分 自身の考えを述べたり、適切に 表現できている。 日常や社会的な話題について英 語を通してある程度理解し、自 分自身の考えをまとめることが できている。		探究的な課題やグループ・ペア 活動にあまり取り組むことがで きていない。 日常や社会的な話題について英 語を通して理解することができ ていない。									2 月 ～ 3 月	☆期末考査	1	
主体性・態度	グループ・ペア活動において相 手に配慮しながら、積極的に発 言することができる。				グループ・ペア活動において相 手への配慮はできているが、も う少し積極性を要する部分があ る。		コミュニケーションを取ること ができているが、 ができていない。												
	粘り強く学習し、前向きな姿勢 で学習に取り組んでいる。				概ね良い姿勢で学習に取り組ん でいる。		あまり前向きな姿勢で学習に取 り組めていない。												
総 時 間 数																			99

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	外国語【英語】			科目名	論理・表現Ⅱ					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	Lesson 1 School Festival Lesson 2 A Trip to Sapporo Lesson 3 My Dear Friend	8	
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●									4月 5月		
教科書・副教材・（発行所）																			★中間考査	1	
① BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ（数研出版株式会社） ② BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ ワークブック（数研出版株式会社） ③ ④																		第2学期	Lesson 4 A Dog in a Barbershop Lesson 5 Japanese Food Lesson 6 Volunteer Activities	15	
学 習 の 重 点 目 標																			6月 7月		
「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。																			★期末考査	1	
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第3学期	8月 9月	Lesson 7 A Stage Actor Lesson 8 I Like Singing Lesson 9 Cycling	19					
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。				課題や提出物の出来具合により評価する。				日常の学習態度、ALTとの英会話やペアワークでの積極的な活動などを評価する。					★中間考査	1						
評 価 の 基 準																		10月 11月	Lesson 10 My New Hiking Boots Lesson 11 The Yangtze River Lesson 12 My sisiter's Job Lesson 13 In Kansas City	19	
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				★期末考査	1							
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。				★期末考査	1			
思・判・表	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。				日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。				日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。				12月 1月	Lesson 14 Dreaming of Space Lesson 15 An Android Like You Lesson 16 I Left My Smartphone	17						
														★期末考査	1						
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。				グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。				コミュニケーションを取ることができていない。				2月 3月								
総 時 間 数																		83			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	外国語【英語】		科目名	論理・表現Ⅲ											第 1 学期	4 月 ～ 5 月	Lesson 1 Lesson 2		4 4	
単位数	2	学科	普通科	学年	3 年	該当するコース・科 →					●	●				第 2 学期	6 月 ～ 7 月	Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5		4 5 5
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																				
① Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ（啓林館） ② Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ サブノート（啓林館） ③ 副教材：Vision Quest 総合英語 3rd Edition ④ 副教材：SCRAMBLE Basic 英文法・語法 3rd Edition																				
学 習 の 重 点 目 標																				
「論理・表現Ⅰ・Ⅱ」の学習内容を踏まえ、「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動に行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。																				
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。			ペアワークでの積極的な活動、小テストや英作文の仕上がりなどを評価する。			日常の学習態度、出席状況、課題や提出物により評価を行う。													
評 価 の 基 準																				
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）													
				B＋	B－															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	ペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			ペアワーク活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。			ペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。													
	英作文や応用的な問題にも計画的に取り組み、適切に表現し理解することができている。			英作文や応用的な問題にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。			英作文や応用的な問題にあまり取り組むことができていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
															総 時 間 数		73			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数							
教科名	外国語【英語】			科目名	論理・表現Ⅲ					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	Lesson 1	4								
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →									●	●			Lesson 2	4								
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																												
① Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ (啓林館)																												
② Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ サブノート (啓林館)																												
③																												
④																												
学 習 の 重 点 目 標																												
「論理・表現Ⅰ・Ⅱ」の学習内容を踏まえ、「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動に行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。																												
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度																			
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。				ペアワークでの積極的な活動、小テストや英作文の仕上がりなどを評価する。				日常の学習態度、出席状況、課題や提出物により評価を行う。				第2学期	Lesson 6	4													
														Lesson 7	4													
														Lesson 8	4													
														共通テスト演習	2													
														中間考査														
評 価 の 基 準																												
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第3学期	Lesson 9	4													
					B＋		B－								Lesson 10	4												
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。					Lesson 11	5													
														共通テスト演習	4													
														期末考査														
思・判・表	ペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				ペアワーク活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。				ペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。				第3学期	Lesson 12	8													
														Lesson 13	8													
														共通テスト演習	4													
														期末考査														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				第3学期	2月														
														3月														

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	外国語【英語】			科目名	実践英語Ⅱ					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	トピック 自己紹介 トピック GWの思い出	7	
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●									6月 ～ 7月	トピック 人物の紹介	11
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																			第2学期		8月 ～ 9月	トピック 夏休みの思い出
① 独自教材プリント ② ③ ④																				10月 ～ 11月		トピック 日本文化の紹介 トピック 大切にしているもの
学 習 の 重 点 目 標																		第3学期	12月 ～ 1月		トピック 自分を支えてくれた人	10
外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。 また、実用英語検定試験等を受検し、上級の合格を目指す。																				2月 ～ 3月		
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				総 時 間 数		57							
評価の趣旨	各学期毎に、原則として期末考査のみを実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。				ALTとの英会話やペアワークでの積極的な活動、英作文の仕上がりなどを評価する。				日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストの出来具合により評価を行う。													
評 価 の 基 準																						
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）													
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。						1							
思・判・表	英会話やペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 英作文や応用的な問題にも計画的に取り組み、適切に表現し理解することができている。				英会話やペアワーク活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。 英作文や応用的な問題にも積極的に取り組み、ある程度表現し理解することができている。				英会話やペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。 英作文や応用的な問題にあまり取り組むことができていない。						1							
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。 振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	保健体育			科目名	体育（男子）					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	オリエンテーション スポーツテスト② バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム） ○実技試験	10	
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●									6月 ～ 7月	バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム） ○実技試験	15	
教科書・副教材・（発行所）																			第2学期	8月 ～ 9月	スポーツテスト① 陸上競技 （走り幅跳び・砲丸投げ） ○実技試験	21
① 現代高等保健体育（大修館書店） ② Active Sports2023〔総合版〕（大修館書店） ③ ④																				10月 ～ 11月	バスケットボール （パス・ドリブル・シュート・ゲーム） ○実技試験	21
学 習 の 重 点 目 標																		第3学期	12月 ～ 1月	体育理論 ●期末考查	13	
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																			2月 ～ 3月		1	
評 価 の 基 準																			総 時 間 数		81	
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）													
					B＋		B－															
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考査。				実技テストと新体力テストの合計が55～79点である。 3学期のみ実技		実技テストと新体力テストの合計が30～54点である。 3学期のみ実技		実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3学期のみ実技テストと定期考													
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。 応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。				グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。		真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。 あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができる。				グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。		真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。 あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	保健体育			科目名	体育（女）					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月～5月	オリエンテーション スポーツテスト② 陸上競技 走り幅跳び ○実技試験	9	
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●									6月～7月	陸上競技 砲丸投げ ○実技試験	16	
教科書・副教材・（発行所）																			第2学期	8月～9月	スポーツテスト① バスケットボール （パス・ドリブル・シュート・対人・ゲーム） ○実技試験	19
① 現代高等保健体育（大修館書店） ② Active Sports2022〔総合版〕（大修館書店） ③ ④																				10月～11月	バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム） ○実技試験	21
学 習 の 重 点 目 標																		第3学期	12月～1月	バレーボール ゲーム ○実技試験	17	
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																			2月～3月	体育理論 ●期末考查	1	
知識・技能																			総 時 間 数		83	
思考・判断・表現																						
主体的に学習に取り組む態度																						
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合				①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み				①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度													
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）													
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考査。				実技テストと新体力テストの合計が55～79点である。 3学期のみ実技				実技テストと新体力テストの合計が30～54点である。 3学期のみ実技				実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3学期のみ実技テストと定期考									
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。 応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。				グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。 真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。 あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができる。				真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考え													

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	保健体育			科目名	体育（男子）					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	オリエンテーション スポーツテスト② サッカー （パス・ドリブル・シュート）	9
単位数	3	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →					●	●									
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																					
① 現代高等保健体育（大修館書店） ② Active Sports2023〔総合版〕（大修館書店） ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	8月 ～ 9月	スポーツテスト① 陸上競技 （走り幅跳び・砲丸投げ）	16					
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合				①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み				①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度												
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）					第3学期	10月 ～ 11月	バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム）	20				
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考査。				実技テストと新体力テストの合計が55～79点である。 3学期のみ実技		実技テストと新体力テストの合計が30～54点である。 3学期のみ実技		実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3学期のみ実技テストと定期考												
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。				グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。				グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。				12月 ～ 1月		体育理論	14					
	応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。				真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。								●期末考査	1			
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。				真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				2月 ～ 3月								
	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
総 時 間 数																		76			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	保健体育		科目名	体育（女子）														
単位数	3	学科	普通科	学年	3 年	該当するコース・科 →			●	●					第 1 学期	4 月 ～ 5 月	オリエンテーション スポーツテスト② 陸上競技 （走り幅跳び・砲丸投げ）	8
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																		
① 現代高等保健体育（大修館書店） ② Active Sports2023〔総合版〕（大修館書店） ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																		
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第 2 学期	8 月 ～ 9 月	スポーツテスト① バスケット （対人・ゲーム）	15					
	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3 学期のみ定期考査の出来具合			①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み			①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度											
評 価 の 基 準																		
知・技	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）				第 3 学期	10 月 ～ 11 月	バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム）	21				
				B＋			B－											
思・判・表	実技テストと新体力テストの合計が8 0 点以上であり基本的な技術が習得できている。 3 学期のみ実技テストと定期考査。			実技テストと新体力テストの合計が5 5 ～ 7 9 点である。 3 学期のみ実技			実技テストと新体力テストの合計が3 0 ～ 5 4 点である。 3 学期のみ実技			実技テストと新体力テストの合計が3 0 点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3 学期のみ実技テストと定期考			12 月 ～ 1 月	体育理論	15 1			
	主体性・態度	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。 応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。 真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。 あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				2 月 ～ 3 月		●期末考査				
運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができる。			真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考え												
総 時 間 数																	76	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	情報			科目名	情報探究					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月	色を絡めた自己紹介 好きな色をエピソード付きで話をして自己紹介をする	6
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →				●									5月	都道府県の紹介 ランダムに指定した都道府県を紹介する	6
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																			6月	世界各国の紹介 自分の行ってみたい国を調べて紹介する	6
																				7月	商品の営業（飲料水、お菓子、家電など） 自分の使用したことがある製品のいいところを宣伝する
学 習 の 重 点 目 標																		第2学期	8月	入試・入社試験に向けての自己紹介 マインドマップを使い自分のことを詳しく紹介する。	10
1.プレゼンテーションを行い、コミュニケーションスキルをあげる。																			9月		
評 価 の 基 準																			10月	面接・A0入試対策 各自の課題に応じて対策を行う。	13
																			11月		
知・技	PowerPointやGoogleスライドの基本から応用まで知識と技能が習得できている。				PowerPointやGoogleスライドの基本がしっかりと習得できている。				PowerPointやGoogleスライドの基本が習得できている。				PowerPointやGoogleスライドの基本が習得できていない。				第3学期	12月	動画の作成、写真の加工 グーグルフォームの作成など	8	
	PowerPointやGoogleスライドの基本がしっかりと習得できている。				PowerPointやGoogleスライドの基本が習得できている。				PowerPointやGoogleスライドの基本が習得できている。				PowerPointやGoogleスライドの基本が習得できていない。					1月			
思・判・表	探究的な課題や活動に積極的に取り組み、自分の考えを適切に表現することができる。				探究的な課題や活動に取り組む、ある程度自分の考えを表現することができる。				探究的な課題や活動にあまり取り組むことができていない。				探究的な課題や活動にあまり取り組むことができていない。				2月				
	探究的な課題や活動に取り組む、ある程度自分の考えを表現することができる。				探究的な課題や活動に取り組む、ある程度自分の考えを表現することができる。				探究的な課題や活動に取り組む、ある程度自分の考えを表現することができる。				探究的な課題や活動に取り組む、ある程度自分の考えを表現することができる。					3月			
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、活動においても積極的に作業に取り組んでいる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。積極性も不十分である。								3月				
	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、活動においても積極的に作業に取り組んでいる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。積極性も不十分である。												
総 時 間 数																		55			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	情報		科目名	ビジネス基礎Ⅱ															4 月 ～ 5 月	全商ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集1・2・3級 実技問題1～10	
単位数	2	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →		●									第1 学 期	6 月 ～ 7 月	全商ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集1・2・3級 実技問題10～20 全商ビジネス文書実務検定 受験 Googleフォームを使使用したアンケート作成と結果報告	10 6	
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																					
① 全商ビジネス文書実務検定テキスト1・2・3級 （実教出版） ② ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
1. パソコンを利用して、文書作成や情報処理の知識と技能の修得を目指す。 2. ビジネス文書検定1～3級のスキルを身につけ、合格する。 3. Google、Windows、Macを使いこなす。																					
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度							第2 学 期	8 月 ～ 9 月	Googleスライドを使用してのプレゼンテーション	10				
評価の趣旨	1. 単元ごとに実技テストを実施			1. 単元ごとの実技を含めた課題レポートにて測る 2. 授業中にてグループ活動での振り返り用紙にて測る			1. 授業中の様子 2. 提出物の提出率とその内容 3. 実技課題の取り組みやグループ活動での振り返り用紙の内容														
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）							第3 学 期	10 月 ～ 11 月	iPadを使用して動画作成	10				
				B＋		B－															
知・技	単元ごとの実技テストを100点満点に換算した合計得点が80点以上である。基本から応用まで知識と技能が習得できている。			実技テストの合計得点が55～79点である。		実技テストの合計得点が30～54点である。		実技テストの合計得点が30点未満である。基本的な知識や技能が習得できていない。													
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを適切に表現することができる。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを表現することができる。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。							12 月 ～ 1 月	PowerPointを使用してのポスター作成	8					
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。思考力や判断力が身につけていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。積極性も不十分である。							2 月 ～ 3 月							
	振り返るべき内容を考えて的確に表現でき、次の取り組みに有用的に活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														
総 時 間 数																	52				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学	習	内	容	時数
教科名	総合的な探究の時間			科目名	進学探究セミナーB			D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	実力診断活用法（進学） セミナーガイダンス（進学） 適性診断で自己分析		1 1 1
単位数	1	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●													
教科書・副教材・（発行所）																				
① 本校オリジナルテキスト ② 小論文チャレンジノート 第一学習社 ③ ④																				
学 習 の 重 点 目 標															第2学期	6月 ～ 7月	校外合同進路ガイダンス（コンベンション） 進路講演：我武者羅応援団 進路決定までの道 自己分析：小論文チャレンジノート 志望理由・自己PR：小論文チャレンジノート 「志望理由書」に挑戦①：小論文チャレンジノート 「志望理由書」に挑戦②：小論文チャレンジノート		3 1 1 1 1 1 1	
地域や学校、自分の困りごとや、SDG sなどのグローバルでの課題について探究しながら解決策を探し、提案することを目指して学習する。 スライドを用いた発表、小論文対策を通して、深く考え、判断し、自分の思いや意見をしっかりと人に伝える力を身に着ける。																				
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																				
知識・技能	作文や小論文、プレゼンテーションの方法やその技法について提出物や発表を通じて評価する。																第3学期	8月 ～ 9月	「自己PR文」に挑戦：小論文チャレンジノート 「小論文」課題に挑戦：小論文チャレンジノート 面接練習	
	思考・判断・表現	進学しようとする分野の大学・短大・専門学校が求めている適性についてよく理解している。自らの適性をよく把握し、能力を高める努力をするとともに、興味・関心について文章表現できる。 小論文、面接やプレゼンテーション能力などで評価する。														10月 ～ 11月			「社会人になるまでに知ってほしいこと」講演事前学習 「社会人になるまでに知ってほしいこと」講演①②③ プレゼンテーションを作ろう プレゼンテーション発表・評価 時事問題を知ろう①②（SDGs） 時事問題を知ろう③（テーマ）	
主体性・態度		授業態度や出欠状況など授業や課題への取り組み姿勢を評価する。															12月 ～ 1月	時事問題を知ろう④（調査） 時事問題⑤（まとめ）＋ 3年生と語る会準備 3年生と語る会 合格体験記 着こなし教室		1 1 1 1 1
																2月 ～ 3月				
総 時 間 数																	32			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数
教科名	総合的な探究の時間		科目名	就職探求セミナーB											第 1 学期	4 月 ～ 5 月	ガイダンス 適性検査 職業適性		
単位数	1	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →	●										第 2 学期	6 月 ～ 7 月	面接指導 クレペリン 進路ガイダンス（求人票の見方） 履歴書の書き方 履歴書の作成
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）															第 3 学期	8 月 ～ 9 月			履歴書作成 採用試験直前（面接練習） 礼状の書き方と作成 3年生と語る会準備
① 内田クレペリン精神検査 標準型（株式会社 金子書房） ② 厚生労働省編一般職業適性検査（厚生労働省職業安定局） ③ ④																	10 月 ～ 11 月	3年生と語る会準備	
学 習 の 重 点 目 標															12 月 ～ 1 月	2月 ～ 3月			
2年次までに探究学習を通して、地域や企業の理解とそれらが抱える問題について思考力を深めてきた。 3年次ではこれらの学びを通して、実際に自分が社会でどのような役に立てるのかを考え、就職に向けた具体的な対策について学ぶ。 また、就職に関して学んだことをしっかりと後輩に伝える力を身につける。																	総 時 間 数		23
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																			
知識・技能	社会での自己の役割をふまえ、採用試験に必要な力を身につけているか。 課題に合った事柄を計画的に実施しようとしているか。 表現方法に探究的観点と客観性があるか。														第 2 学期	10 月 ～ 11 月		3年生と語る会準備	
	思考・判断・表現	企業・官庁等が求めている適性について、よく理解しようとしているか。 同時に自らの適性をよく把握し、能力を高める努力を積み重ねることができるか。 表現方法のレベル（プレゼンテーション能力など）が適切であるか。															第 3 学期	12 月 ～ 1 月	年賀状の書き方と作成 着こなし教室 合格体験記
主体性・態度		授業態度や出欠状況など授業や課題への取り組みがなされているか。 他者と協力して物事を遂行できるか。														第 3 学期			2月 ～ 3月
																	総 時 間 数		
															総 時 間 数		23		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	総合的な探究の時間			科目名	総合的な探究の時間																
単位数	1	学科	普通科	学年	3年	該当するコース・科 →						●	●				第1 学期	4 月 ～ 5 月	探究発表準備① 探究発表準備② 探究発表① 探究発表② 探究発表③	5	
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																					
① Locus Program (マイナビ) ② ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
米子市の課題解決をテーマとして、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。																					
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																					
知識・ 技能	地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域や社会の特徴や良さに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることの気付いている。																				
	思考・ 判断・ 表現	地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見いだし、その解決に向けて仮説を立てたり調査して得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身につけている。																			
主体性・ 態度		地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。																			
	第3 学期	12 月 ～ 1 月	学問×SDGs探究① 学問×SDGs探究② 学問×SDGs探究③ 合格体験記 着こなし教室															5			
2 月 ～ 3 月																					
総 時 間 数																		27			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数
教科名	総合的な探究の時間		科目名	総合的な探究の時間											第 1 学期	4 月 ～ 5 月	探究発表準備		
単位数	1	学科	普通科	学年	3 年	該当するコース・科 →						●	●		第 1 学期	6 月 ～ 7 月	探究発表 探究レポート 小論文・志望理由書対策（スタディーサプリ他） 大学・分野研究（オープンキャンパス参加準備）		5
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																			
① 教科書：課題探求メソッド（啓林館） ② 副教材：課題探求ノート（啓林館） ③ ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。また、探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。																			
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																			
知識・技能	課題研究の各段階における手法，論文の作成・執筆方法，様々なプレゼンテーション方法やその技法について，各段階での提出物の完成度や，調査・実験などの取り組みなどを見て総合的に評価する。														第 2 学期	8 月 ～ 9 月	志望理由書・面接対策（スタディーサプリ他）		7
	思考・判断・表現	自ら見つけた研究課題に向き合って解決していく過程や，まわりの人々と協力して解決の糸口を見つけていく力などについて，授業中のディスカッションや発表への参与態度や内容に加え，各段階で作成された提出物や研究論文，プレゼンテーションなども含めて総合的に判断する。														10 月 ～ 11 月	社会人準備講演の事前学習 「社会人になるまでに知っておきたいこと」講演 講演振り返り		4
主体性・態度		授業中の意欲や取り組む姿勢，課題への取り組み姿勢などに加え，課題研究を進めていく際のスケジュール調整力や，多方面への働きかけ方などを各段階で見て，総合的・多角的に評価する。また、長期休業中などの実験や研究論文の執筆，プレゼンテーションの準備などに取り組む姿勢も含めて評価する。														第 3 学期	12 月 ～ 1 月	学問×SDGs探究（学問講座） 学問×SDGs探究（学問講座） 学問×SDGs探究（学問講座） 受験の心得 受験に向けて（行動計画表作り）	
	2 月 ～ 3 月																		
															総 時 間 数		24		